

また、現在2村の人口は減少傾向にあると同時に、高齢化率も高くなっているため、子どもから高齢者まで新しい村を担う住民が安心して暮らしやすい環境を整備するとともに、村の活性化の基盤となる人口の増加を図り、活力あるふるさとを創ることは重要な課題となっています。

そのため、社会教育や高齢者・障がい者福祉の充実、地域医療の確保、健康づくりの支援、子育て環境の整備や子育て支援などに取り組んでいきます。

#### <新村で実施又は検討する主な事業>

施策分野	主な事業
①学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校の統合、改築</li> <li>○中学校後利用の検討</li> <li>○各学校間(阿智と浪合と清内路、新村と村外)の交流の推進</li> <li>○地域の歴史・文化をテーマとした授業や地域の人材を講師とした授業の実施</li> <li>○地域体験学習など学校・家庭・地域が連携した教育の推進</li> <li>○セカンドスクールや山村留学制度、林間学校などの維持・拡充、新村での教育的活用方法の検討</li> <li>○地域の農産物や郷土食など地域文化を取り入れた食育の推進</li> <li>○地域高校や大学等と連携した福祉活動、地域の人材育成の促進</li> </ul>
②社会教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館活動の充実、村づくり学習会等の開催</li> <li>○幅広い世代にわたる生涯学習メニューや社会教育講座の充実</li> <li>○親子や修学旅行生を対象とした農業体験・田舎暮らし体験の開催</li> <li>○野外教育活動の新村での活用</li> </ul>
③地域文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財など自然環境の保護と周辺整備</li> <li>○地域の伝統芸能・文化の世代継承</li> <li>○歴史の道(東山道・清内路街道・伊那街道(三州街道))の環境整備、「東山道・園原ビジターセンター」の運営</li> <li>○地域の歴史や文化の情報発信</li> </ul>
④地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者や障がい者の福祉サービスの充実</li> <li>○高齢者や障がい者を対象とした送迎ボランティア活動の実施</li> <li>○中・高齢者の有償ボランティア活動(農作業、草取りなど)の拡大</li> <li>○新しい公共交通システムの構築</li> </ul>
⑤健康づくり・地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療所常勤医師の確保</li> <li>○健康づくり支援メニューの充実</li> <li>○診療所や民間医療機関と連携した効果的な健康診断の充実、村民の自主的な健康管理の環境づくり</li> <li>○温泉や高原などの環境資源を活かした健康保養地づくり</li> </ul>
⑥子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援メニューの充実</li> <li>○保育所、子育て支援センターを活用した世代間交流の充実</li> </ul>
⑦地域情報通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2村の地域情報通信システムの統合</li> </ul>
⑧消防・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2村の防災行政無線システムの統合</li> </ul>

### 3 住民主体の持続可能な村づくり

(集落の維持、自治組織の振興、行政の効率的運営)

～住民一人ひとりが参画する活力ある村づくりのために～

自立の新村づくりを実現するためには、住民一人ひとりがそれぞれの立場で役割を担い、より良い地域をつくるために住民と行政、住民相互が連携、協働しながら、主体的に地域づくりに参画していくことが求められています。

阿智村では、平成15年度に住民自治の活動の主体となる6つの自治組織（自治会）を設け、平成17年度の浪合村との合併により、新たに1つを加え7つの自治組織（自治会）で地域の課題は地域で解決することを基本に、自治会ごとの目標に向けた地域づくりが進められています。

清内路村では、『一人ひとり できることから 始めよう ～やらまい かえまい 清内路～』の理念に象徴される地域づくり活動を実践し、一番清水の会やおおまきの会、消防協力クラブなど、近年立ち上がった自発的な住民グループが様々な地域づくり活動や各種イベント等へのボランティア参加に取り組んでいます。

新村では、全村の住民の自立意識の一層の高揚と自治会活動の活性化を図り、住民主体の持続可能な村としての基盤強化を図るため、新たに清内路地区に自治会を創設し、清内路地区の地域づくりを進めていくとともに、村内各地区の自治会活動や、住民や各種団体の行政との協働による村づくり活動をさらに積極的に支援し、若者定住対策等により、集落の維持を図ります。

#### <新村で実施又は検討する主な事業>

施策分野	主な事業
①若者定住	○住宅施策、空き家活用、子育て支援など、総合的な若者定住対策の推進 ○Uターン・Iターン・Jターン受入対策の推進 ○情報発信のシステムづくりの促進 ○村外・県外の若者との交流の推進 ○企業誘致等による雇用の場の確保、雇用情報の提供
②集落維持と定住対策	○「集落計画」策定、集落定住の支援
③住民主体の協働の村	○清内路地区自治会の創設 ○自治会活動への支援 ○住民協働による生活基盤整備等の促進
④村づくり活動への支援	○住民や住民団体が行政と協働して行う村づくりの活動や村づくり委員会に対する支援 ○地域の資源を活用した村起こしの起業や組織づくりの推進 ○ボランティア活動やNPO(民間非営利組織)の立ち上げへの支援 ○情報発信のシステムづくりの促進

⑤住民の一体感の醸成	○阿智と清内路の地域や住民相互の結びつきを深める合併記念行事や共同交流事業の開催
⑥行政の効率的運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政運営への住民参画の推進</li> <li>○村づくり事業の適切な選択と計画的、効率的な実施</li> <li>○2村の電算システムの統合</li> <li>○民間による浪合庁舎等公的施設の運営管理や有効活用の検討</li> <li>○清内路庁舎等公的施設の運営管理や有効活用の検討</li> </ul>